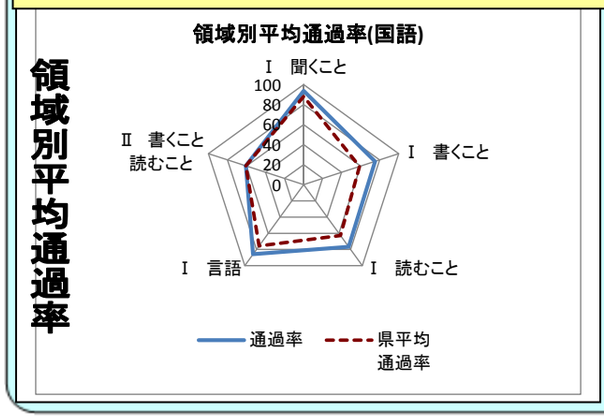
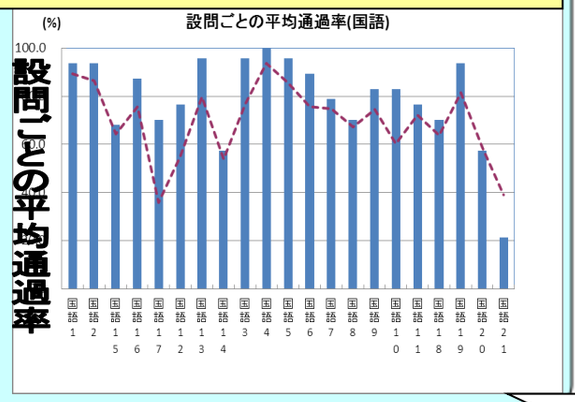
導方法等の改善計画について　〔 国 語 〕

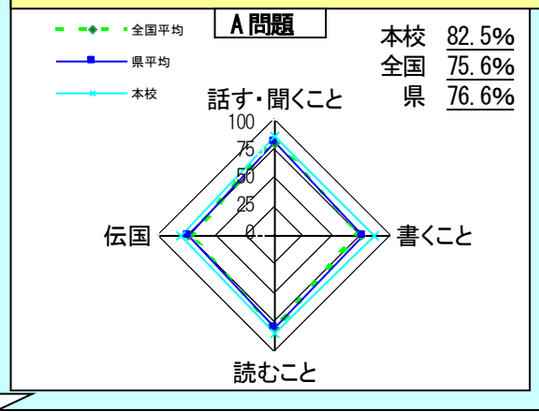
呉市立片山中学校

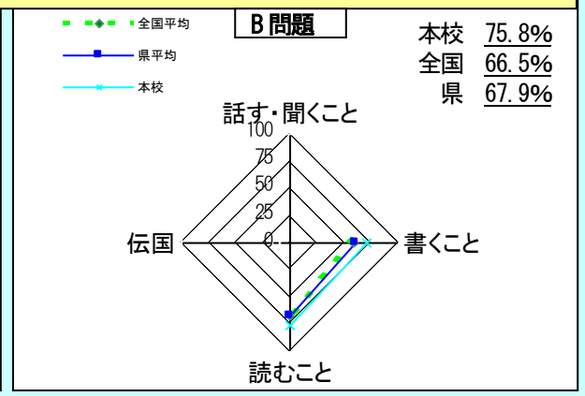
「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校 78.9%，県 69.7%）





全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎タイプⅠ「要旨の把握」の設問は通過率 57.4%（誤答率 42.6%）である。文章全体の展開を理解しながら読み，要旨を捉えることが難しいと分かる。
◎タイプⅡ「目的に応じた引用」と「根拠に基づいた考えの記述」はどちらも通過率が低い。複数の文章や資料を読み比べ必要な情報を引用すること，自分の考えを書くことが難しいと分かる。
◇A問題六―二「文章について説明されたものを選択する」では，通過率は 65.5%で，県・全国の平均より約 2.3%下回っている。
◇漢字・語句の問題では，とくに漢字の書きと慣用句の通過率が低い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎授業で扱った文章について短くまとめた要約文の穴埋めをする。文章読解の際にはどこが重要かを考えさせるために，接続表現に印をつけたり，段落の役割を考えたりする。
◎100 字以上の文章を書くのに抵抗があると考えられるので，短い作文課題を定期的に行う。加えて，授業や定期試験において，複数の資料を読み，自分の考えを書く課題をする。また書いた文章をペアやグループで読み合い，推敲する活動を行う。
◇文章全体を通して何を伝えたいのか，重要な表現はどこかを考えさせながら読む。そのために，キーワードを確認したり，接続表現に印をつけたりする。文章についてまとめたものの穴埋めや，自分で要約をする。
◇毎時間の帯活動で，漢字や語句のミニドリルをし，漢字ノートやプリントを宿題で出し，学習の定着を試みる。
※「読むこと」において，文章の段落の役割や意味，重要な表現を考えさせながら読ませる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト	2年生 期末テスト		2年生 H28「基礎・基本」	1年生 H28「基礎・基本」	2年生 学年末テスト
目標値		70.0%	70.0%		80.0%	65.0%	70.0%
実施後数値		76.8%	70.4%		76.0%	59.5%	72.6%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト	3年生 期末テスト	2年生 H28　全国学力	3年生 学年末テスト		
目標値		70.0%	70.0%	70.0%	70.0%		
実施後数値		72.7%	67.4%	76.5%	74.0%		

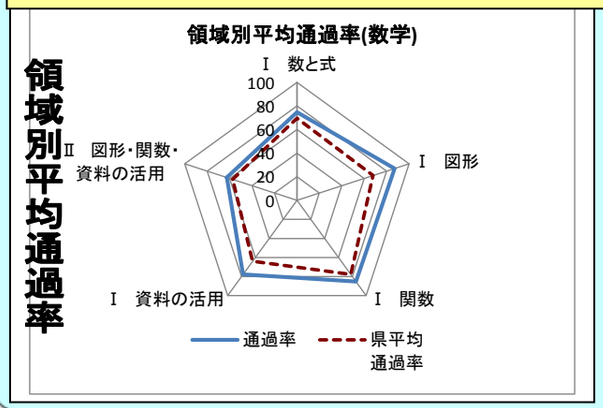
来年度に向けて

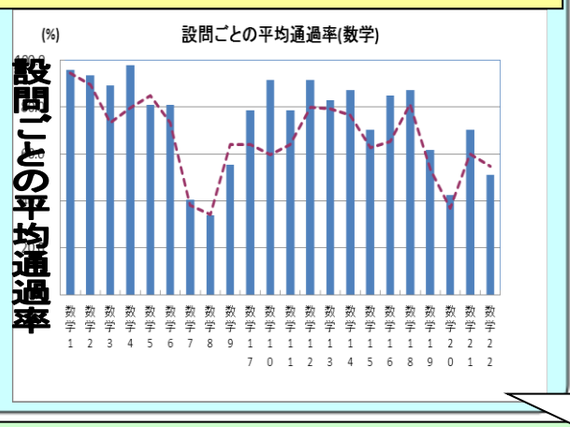
・文章を書くときに分かりやすい構成を意識して書かせる。また，課題や条件に沿って書けるように問題を設定する。
・言語については，引き続き定期的にドリルや小テストを行っていく。

指導方法等の改善計画について　〔 数 学 〕

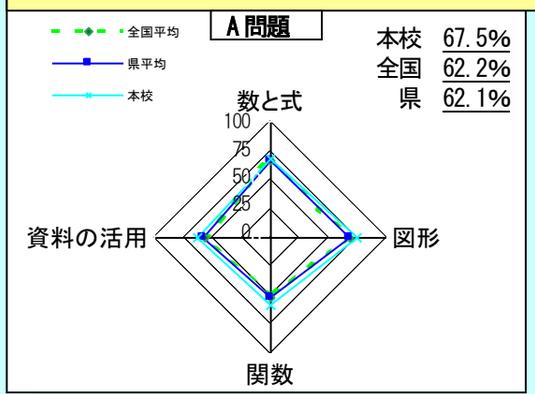
呉市立片山中学校

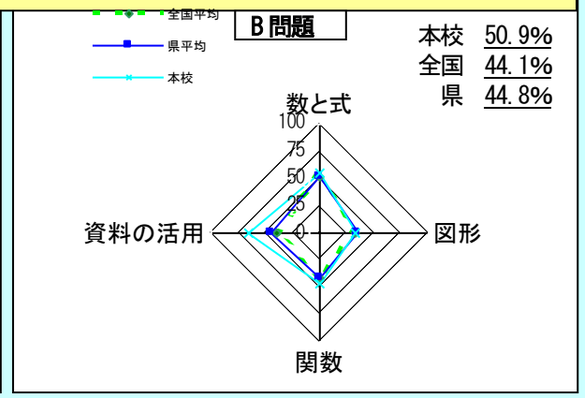
「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校74．9%，県66．8%）





全国学力･学習状況調査　本年度正答率





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査　◇全国学力・学習状況調査

◎　文字式の表し方の通過率で2（2）３４．０%，2（1）４０．４%で低かった。規準を元に文字式に表すことができなかった。

◎　タイプⅡの１０（2）で事象の解釈と表現が４２．６%で課題が残った。比例，反比例の解釈が不十分である。

◇「文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する。」の通過率が１０．９%と低かった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎文字式の表し方は，連立方程式の利用や一次関数の利用で規準を元に文字式に表す問題を取り入れ学習を深めていく。

◎事象の解釈と表現は一次関数の利用で再度比例，反比例の内容を復習しながら事象の解釈と表現の学習を深めていく。

◇活用問題等での立式や式の成り立ちを考えさせたり，考え方を表現させることを重点に置いて指導していく。

※小中一貫教育としての取組として，思考力・判断力・表現力に課題があるので，各単元の活用問題で，基礎的用語や内容を定着させ思考力・判断力・表現力を深めていく指導を行っていく。

◎「基礎・基本」	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２年生課題試験	２年生中間試験		２年生期末試験		１年生学力テスト	１年生 H28「基礎・基本」
目標値	７０%	７０%		６０%		７０%	７５%
実施後数値	６８．７%	６４．３%		５５．７%		７１．１%	６９．７%

◇全国学力	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	３年生課題試験		３年生実力試験	３年生期末試験		２年生 H28「全国学力」	
目標値	６５%		６０%	６５%		７０%	
実施後数値	５６．１%		４４．７%	６１．３%		A６６．３% B４９．６%	

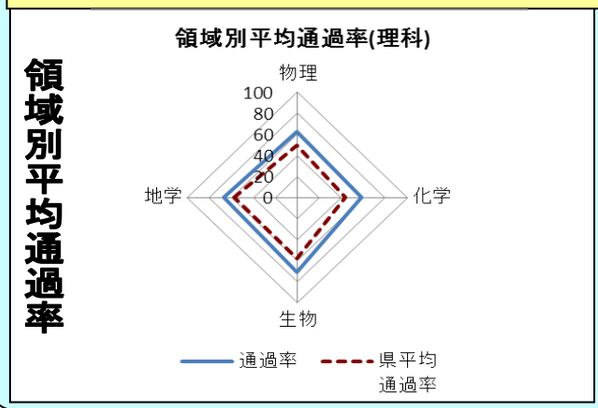
来年度に向けて

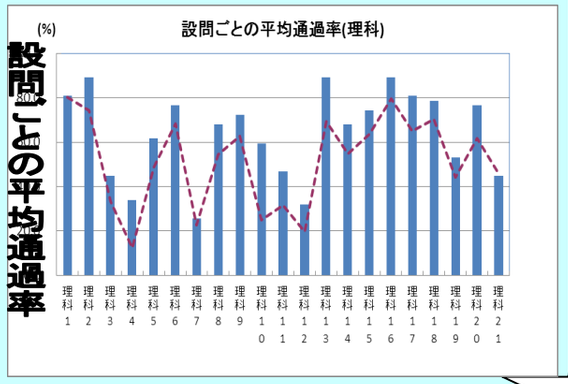
基礎基本の定着を確実におこない，学び合いの授業を通して思考力・判断力・表現力を身につけていかせる。特に連立方程式や関数の活用問題で立式や考え方を表現させていく。目標を県平均以上とする。

指導方法等の改善計画について　〔 理 科 〕

呉市立片山中学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校64．1%，県51．8%）





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①塩化ナトリウム水溶液は冷やしても結晶が出てこない理由を溶解度と関連づけて説明する問題で，誤答であった生徒の８９%は「塩化ナトリウムは温度によって溶解度があまり変化しない」ことは書けているが，「飽和水溶液」のキーワードを正しく使えず，誤答となっている。（通過率２５．５%，無答率２３．４%）
◎②初期微動継続時間と，各観測地点にゆれが届いた時間をもとに震源からの距離を推測する問題で，誤答であった生徒の２４%が地点は答えられてはいたが，波が伝わる速さが一定であるため，初期微動継続時間が同じであれば震源からの距離も同じになることを説明できていなかった。（通過率５３．２%，無答率８．５%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎①キーワードを用いて現象を説明する問題では，まず理科要語・キーワードの意味を定着させることが必要である。そこで，小テストなどを繰り返し行い，知識の定着を図る。また，グラフや実験結果をもとに，キーワードを用いて考察を行う授業をくり返し行っていく。考察を文章で書いていくことが難しい生徒に対しては，ヒントカードや定型文を用意して，書き方を習得させていく。
◎②図や表から，必要な情報を読み取り，それを根拠に説明する機会を授業に取り入れ，指導していく。

※小中一貫した取組については，思考力・判断力・表現力を身につけていくために，根拠をもとに考え，表現させるよう指導する。

◎「基礎・基本」①	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		２年生 確認テスト			２年生　H28 「基礎・基本」	１年生　H28 「基礎・基本」	１年生 学年末テスト
目標値		６０．０%			６５．０%	６０．０%	６５．０%
実施後数値		６０．９%			６５．６%	５５．４%	６１．１%

◎「基礎・基本」②	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		２年生 確認テスト			２年生　H28 「基礎・基本」	１年生　H28 「基礎・基本」	１年生 学年末テスト
目標値		６５．０%			７０．０%	６０．０%	６５．０%
実施後数値		６０．９%			６５．６%	５５．４%	６１．１%

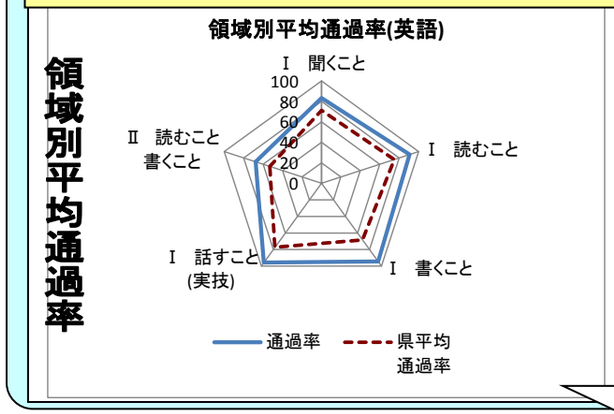
来年度に向けて

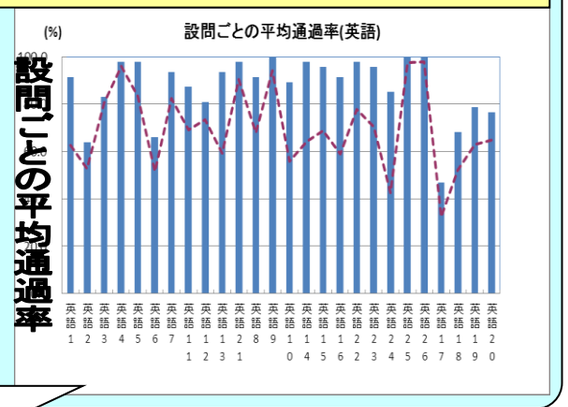
・目標値を下回っているので，課題プリントを実施し，読み解く力を鍛え，基礎学力の定着を図っていく。
・小集団での学習を実施し，ペアや班で互いの考えを根拠を挙げて発表させるようにする。

指導方法等の改善計画について　〔 英 語 〕

呉市立片山中学校

「基礎･基本」定着状況調査　本年度通過率　（本校　87.2%，県　69.6%）





重点課題　◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①「聞くこと」の領域において、英語での問いかけに対する適切な応答が出来ていない。（１－２　通過率 63.8%）　また、概要や要点の把握が出来ていない。（４－２　通過率 66.0%）

◎②「読むこと、書くこと」の領域において、適切な質問を考え、英文を書くことが出来ていない。（１１－１通過率 46.8%）　また、根拠となる英文の読み取りが出来ていない。（１１－２通過率 68.1%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）

◎①英語のまとまった会話を聞く機会を増やすように、ＡＬＴとの授業やリスニング練習を増やしていく。　その際に、聞くポイントを示したり、メモを取る癖をつけさせたい。

◎②長文の読み取りが苦手な生徒が多いので、練習問題を増やして解かせる。　その際に,少人数グループやペアの学習で、「なぜこう思うか」根拠を持って説明出来るように、学習を深める時間を作る。

※小中一貫の取組については、中学校の英語学習で大切にしていることを小学校への乗り入れの授業や交流授業において教師がしっかり伝えたり、中学生が模範を示したりして、小学校のうちから学習の構えを作る。

◎「基礎・基本」①	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２年生 休み明けテスト	２年生 中間テスト		２年生 期末テスト	２年生 H28 基礎・基本		２年生 学年末テスト
目標値	７０．０%	７０．０%		７０．０%	９０．０%		７５．０%
実施後数値	６６．０%	６２．０%		６９．０%	９０．０%		５９．０%

◎「基礎・基本」②	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	３年生 実力テスト		３年生 実力テスト			３年生 実力テスト	１年生 H28 学年末テスト
目標値	７５．０%		７５．０%			７５．０%	６０．０%
実施後数値	５６．９%		６５．１%			５８．０%	６２．９%

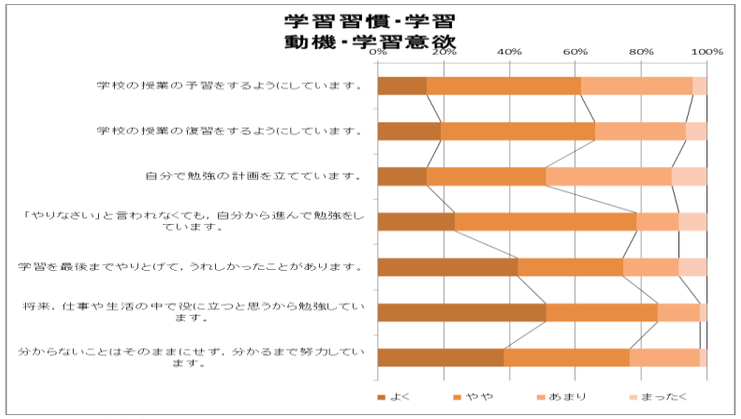
来年度に向けて

・まとまった会話や説明を英語で理解する力が高まってきているので，来年度も英語で授業を進めることや ALT を活用した授業の質の向上を図っていく。

・読む取組をさらに充実させ，根拠を持って自分の意見を表現できる力を高める。

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

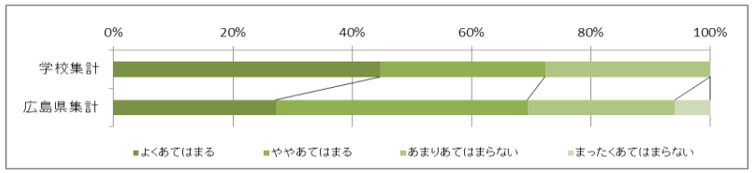
（１）生活・学習



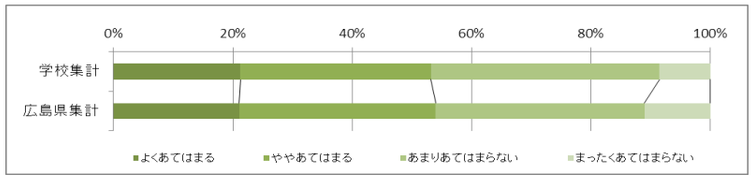
	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
基礎・基本	「学校の授業の予習をするようにしています。」の肯定的評価が38.6%で，広島県平均より14.6%下回っていた。	昨年度と比べても 1.3%下回っている。各教科で生徒が学びたいと思える教材や課題の提示をし，事前に自ら調べようとする授業の工夫改善を行っていく。	全学年	６０％	同じアンケート	１２月	49.4	＋9.8
全国	「家で，学校の授業の予習をしていますか。」の肯定的評価が32.7%であった。	各教科で事前に課題を出し，予習できるような授業の工夫改善を行っていく。	3	７０％	同じアンケート	１２月	42.6	＋9.9

（２）教科

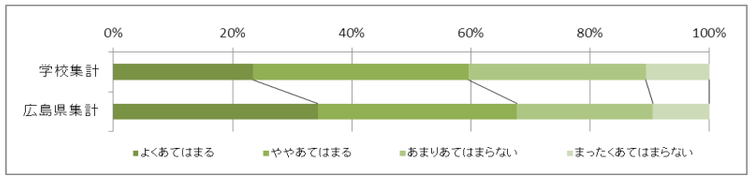
国語の授業では，伝えたいことの中心をはっきりさせ，組立を考えて文章を書いています。



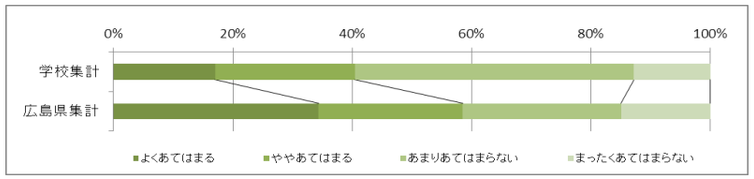
数学の授業では，解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業は好きです。



英語の授業では，少ない人数で学習する方がよく分かります。



		生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語	基礎・基本	「国語の授業では、伝えたいことの中心をはっきりさせ、組立を考えて文章を書いています」の肯定的評価は 72.4%で県より 3.0%高い。しかし、記述問題の通過率は県と同じであった。	授業では文と文、段落と段落のつながり、接続表現の役割を考えさせて課題文を読むとともに、条件に即して記述する課題に取り組ませる。	2	７５％	同じアンケート	２年生２月	83.8	＋11.4
	全国	「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」の「よくあてはまる」は23.6%で、県より 3.3%低い。	意見文や主張文を書く際に、構想メモで意見と根拠を書き出す。それらを明確にさせて記述させる。	3	３０％	同じアンケート	３年１２月	87.0	＋63.4
数学	基礎・基本	「数学の授業では，解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」の肯定的評価が 53.2％で広島県より 0.8%低かった。	グループ学習で，式，図，証明などで自分の考えや，相手の考えの根拠をもとに説明させながら授業展開をおこなう。	2	６５％	同じアンケート	２年生２月	48.9	－4.3
	全国	「数学の勉強は好きですか」の肯定的評価が 49.1％であった。広島県より 10.7%下回っている。	本時の「めあて」を生徒の興味関心が高まるめあてにする。また日常生活と関連づけた授業展開を行っていく。	3	６０％	同じアンケート	３年生１２月	59.3	＋10.2
理科	基礎・基本	「理科の授業は好きです。」の肯定的評価が 59.6%で，広島県より 8.1％下回っていた。	生徒が疑問に思い，「調べたい」と思える教材の開発，導入の工夫を行っていく。日常生活と関連づけた実験や観察で生徒が活動する機会を増やす。	2	６５％	同じアンケート	２年生２月	81.4	＋21.8
英語	基礎・基本	「英語の授業では，少ない人数で学習する方がよく分かります。」の肯定的評価が 40.0%で，広島県より 18.1%下回っていた。	ペアやグループ学習の充実を図り，お互いに教え合い，学び合える集団作りに取り組み，学び合う楽しさを通して，理解を深めていく。	2	６０％	同じアンケート	２年生２月	46.6	＋6.6